

支える人々

リポーターとアナウンサーは
番組に欠かせない存在

テレビやラジオなど、「伝える仕事」に欠かせない存在がリポーターとアナウンサーです。リポーターは、関係者へのインタビューなど現場取材を通じて多くの情報を集めます。アナウンサーはスタジオで、リポーターが集めた情報を整理して視聴者にわかりやすく伝えます。

今回、国東市ケーブルテレビの自主放送番組「くにさき情報レストラン&くにさき元気風」で活躍中の河野さんと米沢さんに、仕事への思いを語っていただきました。



特徴的な髪形がトレードマークの河野さん。明るい性格で番組を盛り上げます。



くにさき元気風 リポーター
河野 恵美 さん（武蔵町糸原）
大分市出身。結婚後に夫の実家のある国東市へ。大分市で民放テレビのリポーターやイベントの司会などをしてきた経験を生かして、国東市でも元気に活動中。

「くにさき元気風」のリポーターをするようになって4年目になります。「くにさき元気風」は、市内の元気な人々を元気に紹介する番組です。イベントや学校、団体などを訪ねて話を聞き、国東で頑張っている人々の魅力的な姿を視聴者にお伝えしています。

リポーターとして心掛けていることは、「話しやすい雰囲気づくり」です。インタビューを受ける方の中には、カメラの前では緊張してうまく話せない方もいます。初対面の方でもすぐに打ち解けられるのが、私の一番の特技。取材相手の方に気さくに接して緊張を和らげ、話しやすい雰囲気をつくるのが私の役割だと思っています。

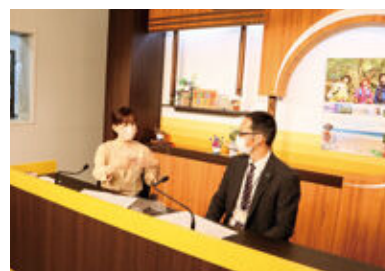
この仕事をしていると、街中で声をかけられることも多いです。「テレビを見て元気になったわ」とか「この前の番組、面白かったよ」などと言われると、本当にうれしいですね。これからも持ち前の明るいキャラクターで、番組名の通り、国東に「元気な風」を吹かせたいです。

大好きな国東の 魅力発信のお手伝いを していけたら

くにさき情報レストラン アナウンサー
米沢 有加 さん

大分市在住。民放ラジオのパーソナリティや結婚式などの司会、アンガーマネジメント（怒りの感情をコントロールする技術）の講師など、多方面で活躍。

平成28年から国東市のケーブルテレビでアナウンサーをしています。話すことを仕事にしており、いろいろな現場に行くのですが、国東市ケーブルテレビのスタッフの皆さんは温かくて、とても仕事がしやすいです。毎週収録で国東に行くのを、いつも楽しみにしています。番組の情報や感動を視聴者にきちんと届けるのが、アナウンサーの仕事。正しく伝わるように、聞き取りやすく話すことに気を配っています。長くこの業界で働いていますが、やっぱり「伝える仕事」は楽しいですね。たくさんの方とご縁ができるのも、この仕事の魅力です。



巧みな司会進行で、「出演者が最も伝えたい情報」を正確に引き出します。

くにさき情報レストラン くにさき元気風

河野さんと米沢さんは「くにさき情報レストラン&くにさき元気風」の主要コーナーを担当しています。



くにさきリポート
地域のイベントや行事、お祭りなどをニュース形式で放送しています。



くにさき情報
市からのお知らせやイベント情報について、ゲストを交えて情報発信します。



くにさき元気風
リポーターがさまざまな場所に出向き、イベントや行事、人物などを紹介します。